**4) 研究計画**

以下の指示に従い作成すること。

・ページ数をA4で4ページ以内に収める。

・ファイルサイズが3MBを超えないようにする。

・ファイル名には.pdfの拡張子を付ける。

・パスワード等のセキュリティー設定を外す。

・赤文字で記載されたインストラクションを削除する。

**i) 本課題の目的（本課題で何をどこまで明らかにするかを、予備実験等による検討と共に記載）**

・先行研究や予備実験等のデータ（特に放射光などの類似の実験によるデータが望ましい）を参照しながら、本課題の中性子/ミュオン実験でさらに何を明らかするのか記載すること（継続的な課題の場合はこれまでMLFで行ってきた課題との違いを明確に示すこと）。

・特に当該装置を強く必要とする理由がある場合は、それを記載すること。

**ii) 実験・解析方法**

・前述の目標を達成するための具体的な実験内容（測定条件、解析の手順等）を記載すること。

・測定データから得られる解析結果（格子定数の変化、励起エネルギーの変化、膜厚の変化、組成分布の変化等）について予想可能な範囲で記載し、研究目的を達成する上でどのような知見が得られるのか示すこと。

・同位体ラベリングなどの特殊な実験を行う場合は、その実験条件や解析方法等について詳細を記述すること。

・実験を行う上で予想される困難（サンプル作成・試料環境・先端的手法におけるデータ解析・分解能の影響・バックグラウンド対策等）については、その対策を具体的に記述すること。

・事前に施設側に利用相談をした場合は、その担当者名を記載すること。

**iii) 希望する利用時間と算出根拠**

ii)実験内容の章と照らし合わせて希望するビームタイムの算出根拠を示すこと

例）

・1(時間/サンプル)x12(サンプル)×5(温度)＋6時間(温度変化)＋6時間(基礎データ・ロスタイム)＝72時間

・時分割測定として3(時間/サンプル)x2(サンプル)x5(温度)＝30時間。各終状態について統計をためたデータを測定するために0.5(時間/サンプル)x2(サンプル)x5(温度)＝5時間。これに基礎データ測定とロスタイム（1時間）を加え、合計36時間を希望する。